

公益社団法人 地盤工学会 第51回地盤工学研究発表会岡山大会において受賞

環境創生理工学教育プログラム 博士前期課程1年 新島 悠斗さん

2016年9月13日から15日まで岡山県で開催された第51回地盤工学研究発表会岡山大会において、環境創生理工学教育プログラムの新島悠斗さんが優秀論文発表者賞を受賞した。論文題目は「2015年ネパール・ゴルカ地震における山地斜面の崩壊発生場の有限要素シミュレーション」で、笛木久美さん、佐竹亮一郎さん、富澤奈岐沙さん、若井明彦教授、千木良雅弘先生(京都大)、八木浩司先生(山形大)、檜垣大助先生(弘前大)、佐藤剛先生(帝京平成大)との共著である。2015年のネパール・ゴルカ地震により、首都であるカトマンズおよびネパール国内の山地部に甚大な被害が及んだ。特に、山地部では多くの表層崩壊が確認されている。本研究では、ある山地部の三次元モデルを作成し、有限要素法を用いた三次元地震応答解析を利用することにより、解析結果と実際の斜面災害分布との比較検討を行い、地震時に危険とされる地域の把握を試みた。地震応答の傾向を捉え、地震時における危険斜面を選別することができる有用性が評価され、受賞につながった。

